



毛呂山町長
井上 健次

平成28年
謹賀新年

新年御挨拶

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。皆さまにおかれましては、ご家族お揃いで新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

東日本大震災の発生から5年が経とうとしています。異常気象と言われる災害が、年々その脅威を増しているように思います。

昨年の「平成27年9月関東・東北豪雨」では、栃木県・茨城県を流れる鬼怒川で堤防が決壊する大災害が発生しました。各地で尊い命が失われたことに哀悼の意を表し、被害に遭われました皆さまに衷心よりお見舞いを申し上げます。この豪雨で、毛呂山町内においても3か所で水害が発生しましたが、幸いにも人的被害はありませんでした。安堵するとともに、浸水が想定される地域への対策を進めております。

国政では、安全保障法制の採決において、与野党の相反する政策から緊張した年になりました。国民の生命財産を守り、安心で安全な国づくりへの尽力に少しでも寄与するため、基礎的自治体の一員として、本町ならではの施策を整えて参る所存です。

さて、昨年の毛呂山町を振り返ると、これほど動きのある町が全

国にあるだろうか」と驚くほどで、特に3月の「毛呂山町議会の解散」により4月の「町長選挙と議会議員選挙の同日選挙」が実現したことは、全国的にも例が無い大きな行政改革です。私もこの選挙において多くの皆さまのご支援をいただき、当選の栄に浴することができました。心から御礼申し上げます。町政の舵取り役として、2期目の町政運営に対し全身全霊で取り組んで参ります。

平成27年の町の動き

【1月】『天皇盃第20回全国都道府県対抗男子駅伝競争大会（広島市）』で、川角中学校3年生(当時)の橋本龍くんが、埼玉県代表チームの2区を走りました。チームは見事優勝。更に橋本くんは、2区の区間賞を獲得しました。

【2月】『毛呂山町合併60周年記念式典』を挙行しました。

【3月】3月定例議会の最終日、議員より提出された「議会の解散」に対する発議において、議員全員の賛成をもって毛呂山町議会の解散が決定しました。

また、『長瀬駅前野久保線開通式』を挙行しました。

【4月】『埼玉県議会議員選挙』、および『毛呂山町長選挙』と『毛呂山町議会議員選挙』の同日選挙が執行されました。

【5月】15日、町長として2期目の初登庁を迎えることができました。

【6月】6月定例議会が開会。新しい14名の議員による毛呂山町議会が動きはじめました。

【7月】プレミアム商品券「もろ丸商品券」が発売され、即日完売しました。

また、5年目を迎えた花蓮事業で、フリーマーケット、軽トラ市などのイベント「花蓮げんぎ市場」を開催しました。

更に同月、桂木ゆずブランド協議会設立準備会が開かれ、毛呂山町のみならず、越生町・ときがわ町の柚子農家も加わり、この地域の柚子を「桂木ゆず」としてブランド化を進めることが決定しました。

【8月】ロシアのカザンで行われた『世界水泳選手権大会』において毛呂山町出身の瀬戸大也選手が400メートル個人メドレーの2連覇を達成し、リオデジャネイロオリンピックの出場が内定しました。当日は中央公民館でパブリックビューイングを開催し、多くの皆さまと瀬戸大也



もろやま町観光大使委嘱状交付式



瀬戸大也選手と榎原孝之コーチ



毛呂山町合併60周年記念式典



桂木ゆず



世界水泳選手権 パブリックビューイング



井上町長2期目の初登庁

選手の快挙をお祝いすることができました。

同日に『埼玉県知事選挙』が執行され、上田清司知事が4選を果しました。

また、『全日本中学校陸上競技選手権大会（札幌市）』に毛呂山中学校3年生の佐藤駿平くんが走り高跳びで出場。1m99cmを跳んで優勝しました。その後佐藤くんは日本オリンピック協会からオリンピック有望選手として認定されました。

〔9月〕西入間広域消防組合消防署・消防団が合同で『消防フェア』を初開催しました。

同月、町立4小学校の普通教室へのエアコン設置工事および毛呂山中学校校舎の大規模改造工事の第1期工事が完了しました。

〔10月〕国勢調査が実施され、今回からインターネット回答が導入されました。

また、『第48回町民レクリエーション大会』を開催し、瀬戸大也選手に特別栄誉賞を授与しました。

同月にはマイナンバー制度がスタートし、11月にかけて通知カードを配布しました。

〔11月〕『第22回産業まつり』を開催し、本町で初の観光大使として瀬

戸大也選手、フォーケデュオ・サスケの奥山裕次さん、北清水雄太さん、アイドルグループ・PASSPO☆の根岸愛さんの、いずれも毛呂山町出身の4人に委嘱状を交付しました。

〔12月〕『第4回そば祭り』と併せて、桂木ゆずのブランド化や地域農産物販売を目的に、町民参加型のお祭り『もろやまげんき市』を開催しました。

平成28年の主な事業

〔道路整備事業〕川角中学校東側の町道7号線は、夏ごろまでに道幅を12メートルに拡幅し、埼玉平成高校に面する交差点までの改良工事を完了させます。

〔川角駅周辺整備事業〕地域の皆さまから意見をいただく段階です。また、東武鉄道や近隣の学校にご協力をいただき、具体的に進める段階となりました。

〔高齢者支援事業〕平成28年度より、山根荘の指定管理者が毛呂病院に変わります。高齢化社会において介護・看護の更なる充実を図ると共に、健康増進施策として健診や疾病予防事業を実施します。

〔健康保険事業〕国保税の個人負担額の削減を実現します。

〔観光事業〕観光大使事業を推進し、新しい観光施策を実現します。また、総合公園を中心とした自然あふれる町の環境整備を段階的に整えます。

以上、特筆できる施策をご紹介させていただきます。1期目の「あなたが主役の毛呂山町」から、2期目は「あなたと創る毛呂山町」としたように、「町民皆様との更なる協働の町づくり」を目指し、尽力して参ります。

都会回帰に移ろうとしている時代ですが、全国の地方自治体においては、地方創生の旗印のもと、地方の独自性を発揮させ、魅力ある町づくりを実現できるかという「大きな波の上にいる」と言えるものでしょう。若者の活躍が続く毛呂山町です。更に魅力ある町にするためにも、皆さまのご理解とご協力をよりしくお願い申し上げます。年頭のご挨拶にさせていただきます。

毛呂山町長 井上 健次